

VIII. 共通科目運営委員会

本学では、いわゆる教養教育的科目を「総合基礎科目」と称しているが、共通科目運営委員会は、この「総合基礎科目」のうち、外国語科目・体育科目・情報処理科目を除く科目の運営を担当している。したがって本章で分析・集計する「共通科目」とは、「総合基礎科目」のうち共通科目運営委員会が担当する科目を指している。

分析に使用したデータの種類は、平成18年度評価の際に用いられたデータと同じである。以下に、分析結果の概要について記述する。

1. 全体分析

共通科目に関しては、授業評価アンケートの対象となる60科目中、59科目についてアンケートを実施した。実施率は、98.33%と、非常に高い数字となっている。学生の回答率（回答者数／総履修者数）は37.50%と、全科目の回答率と比較しても11.23%、全科目のうち授業形態が講義の科目に限っても3.38%低くなっている（Ⅲ. 実施に関わる全体的な状況と評価 図表1参照）が、昨年度の回答率（35.94%）をやや上回っている。回答率が授業への出席率とほぼ同じと考えられることから、今後も引き続き、履修登録していても授業に参加しない学生の実態把握や出席率向上のための施策等を検討する必要がある。

各質問項目を見ていくと、授業のレベルと速さ（Q3・Q4）、知的好奇心の刺激（Q9）という3つの項目では全科目の平均を上回ったものの、それ以外の項目ではすべて平均を下回るという残念な結果となった。特に学生自身の授業に取り組む意欲（Q2）が全科目の平均より0.36ポイント、学習にふさわしい状態の保持（Q6）が0.24ポイント低いのが目立つ。今後、FD全体の取り組みの中で、授業方法の改善策が模索されることが望まれる。

次に、項目間の相関関係を見てみることにする。相関係数表（本節末参照）の中から、授業への満足度（Q10）との相関を例にとってみると、出席状況（Q1）や学生自身の授業に取り組む意欲（Q2）、授業のレベルと速さ（Q3・Q4）と満足度（Q10）との相関はそれほど強くない。これは、出席率が高いことや学生自身の意欲、授業のレベルや速さと授業への満足度が必ずしも連動していないことを示している。一方、教員の熱意（Q5）や理解のしやすさ（Q7）、話し方（Q8）、知的好奇心の刺激（Q9）といった項目と満足度（Q10）との相関は非常に強い傾向にある。この傾向は共通科目に限らず全体的に見られるものであるが、教員の授業に対する取り組み姿勢がそのまま満足度としての評価につながっていることが分かる。

以上の結果から、授業に対する評価が、学生の主体的な取り組みより、教員の授業への取り組み方に依存している部分が見える。このため、学生が主体的に授業に取り組むようにするためには何を改善していくべきなのか検討していくことが必要である。

2. 授業形態別の分析

「講義」「演習」「語学」の3種類の形態別に分析してみたい（第3章資料集参照）。

共通科目はすべて「講義」の形態で授業が行われているが、アンケート結果を見ると「演習」形式の授業が多く項目で、もっとも評価が高いことがわかる。

その理由として、「演習」は比較的履修者数が少ないため教員の目が届きやすいこと、発表やディスカッションなど参加型の授業形式であること、学生自身の意思で履修しており意欲的に取り組んでいることが挙げられる。

共通科目の場合、どうしても履修者数が多くなりがちだが、教員が学生に向けて一方的に講義をするだけでなく、学生が授業に参加しているという意識を持てるような工夫をする必要がある。

3. 学年別の分析

今回のアンケート結果からは、全科目の分析結果と同様、多くの質問項目において、学年が上になればなるほど評価が高くなる傾向にあることがうかがえる。この理由については、今回のアンケート結果のみで即断できないが、3・4年生になるにしたがって必修科目の履修数が減少してくるため、結果として時間割に余裕ができ、学生は自らの意思で履修している、ということが想定される。

また、出席率についてのみ学年が低いほど高いという結果が出ているが、その反面、満足度をはじめとする他のすべての項目は上記のとおり逆の結果になっている。この背景には、1・2年生が大学の講義形式に十分慣れていないということも関係していると推察される。

4. 総履修者数ランク別の分析

総履修者数規模を「25名以下」「26～50名」「51名～100名」「101～200名」「201名以上」という5つのランクに分類し、これらのランク別に平均値の差について分析した（第3章資料集参照）。

出席率・学生の授業への意欲的な取り組み・授業スピード・満足度といった多くの項目で高い評価を得ているのは「25名以下」および「26～50名」のランクの科目であることがわかる。この理由としては、学生と教員との距離感が近く、双方にとって適度な緊張感が生まれているためと考えられる。一方、「101～200名以上」「201名以上」という規模の大きい科目で評価の低い項目が目立つ傾向にある。

履修者数が比較的多い共通科目が、多くの項目で全科目の平均を下回っている原因のひとつが、こうした傾向によるものであるとすると、今後、履修者数の多い科目を増設して分散化する等の措置が必要となる。

5. 今後の課題

今回の授業評価アンケートは2度目の実施であり、経年変化のデータが十分得られていないことを考慮する必要があるものの、共通科目分としての集計結果・分析からは、以下の3点が課題として挙げられるであろう。

- ① 履修登録しているものの授業に出席していない学生への対応
- ② 学生を授業に意欲的に取り組ませるための施策の検討
- ③ 授業規模の見直し

①、②については、学生への働きかけが必要なもの、③については全学的に教育上・経営上の観点を含めて検討されるべき問題であることから、共通科目のみの特異な現象ではないと思われる課題である。例えば、学生に対する働きかけとして、①については、出欠管理を徹底したりシラバスにその旨を明記したりといった方策が、また、②については、現在はほとんどの科目が講義形式であるが、一部演習的要素を取り入れることによって、学生が主体的に授業に参加できるような授業スタイルを導入する方策を検討することが考えられる。いずれにしても、共通科目という枠組みとして何かをするというよりも今後全学的に行われるであろうFD活動の一環として取り組む必要があるだろう。

一方、共通科目運営委員会の位置付け、あり方にも課題がある。現在、共通科目の実質的な運営については各学部教授会に依存しているため、共通科目運営委員会には独自の企画・立案・実行機能が与えられていない。今後の検討課題としては、共通科目運営委員会独自のカリキュラム案を大学全体として承認していくよう意思決定システムを変更していくことが考えられる。



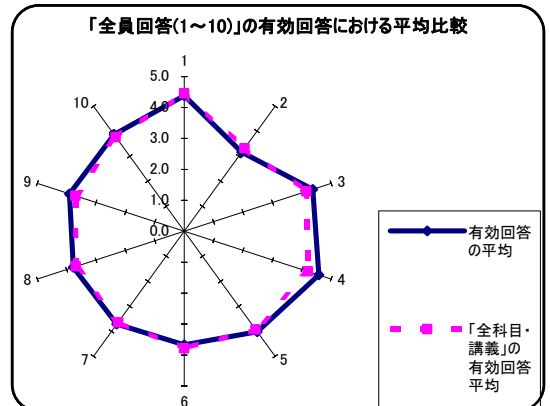
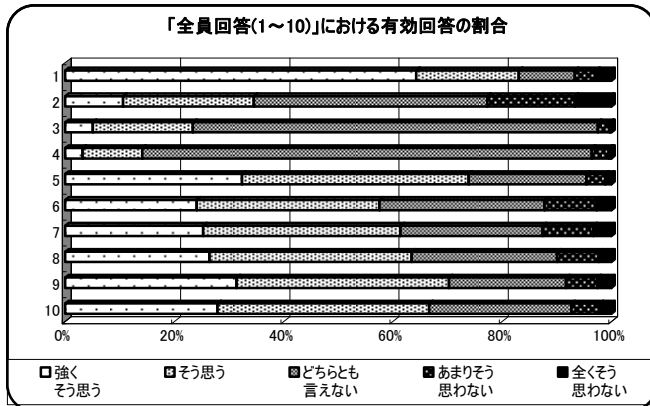
学習院大学 平成19(2007)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 共通科目運営委員会

	合計	総履修者数	回収率
回収数	4,089	10,905	37.50%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	2,612	764	417	158	113	25	4,089	4.38	1.004	4.38	0.360
			63.88%	18.68%	10.20%	3.86%	2.76%	0.61%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	431	969	1,733	649	271	36	4,089	3.16	1.033	3.25	0.449
			10.54%	23.70%	42.38%	15.87%	6.63%	0.88%	100.00%				
	3	この授業のレベルについて 5:高すぎる 4:やや高すぎる 3:適切である 2:やや低すぎる 1:低すぎる	207	745	3,010	88	11	28	4,089	4.38	1.135	4.29	0.494
			5.06%	18.22%	73.61%	2.15%	0.27%	0.68%	100.00%				
	4	この授業を進める速さについて 5:速すぎる 4:やや速すぎる 3:適切である 2:やや遅すぎる 1:遅すぎる	131	443	3,343	127	18	27	4,089	4.57	0.983	4.53	0.296
			3.20%	10.83%	81.76%	3.11%	0.44%	0.66%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	1,314	1,685	874	139	46	31	4,089	4.01	0.882	4.09	0.383
			32.13%	41.21%	21.37%	3.40%	1.12%	0.76%	100.00%				
6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	979	1,358	1,228	385	110	29	4,089	3.67	1.028	3.82	0.423	
		23.94%	33.21%	30.03%	9.42%	2.69%	0.71%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	1,026	1,468	1,056	377	132	30	4,089	3.71	1.045	3.77	0.483	
		25.09%	35.90%	25.83%	9.22%	3.23%	0.73%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	1,075	1,503	1,080	312	92	27	4,089	3.78	0.996	3.87	0.401	
		26.29%	36.76%	26.41%	7.63%	2.25%	0.66%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	1,277	1,579	871	231	105	26	4,089	3.91	0.990	3.98	0.379	
		31.23%	38.62%	21.30%	5.65%	2.57%	0.64%	100.00%					
10	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,129	1,566	1,052	210	85	47	4,089	3.85	0.957	3.92	0.418	
		27.61%	38.30%	25.73%	5.14%	2.08%	1.15%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	11	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	861	1,241	1,141	495	190	161	4,089	3.53	1.109	3.69	0.535
			21.06%	30.35%	27.90%	12.11%	4.65%	3.94%	100.00%				
12	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	951	1,430	1,172	280	88	168	4,089	3.73	0.979	3.83	0.424	
		23.26%	34.97%	28.66%	6.85%	2.15%	4.11%	100.00%					



相関係数表 部門名 共通科目運営委員会
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12
Q1	1											
Q2	.358(**)	1										
Q3	0.03	.094(**)	1									
Q4	0.002	-0.007	.527(**)	1								
Q5	.159(**)	.350(**)	.071(**)	.081(**)	1							
Q6	.129(**)	.361(**)	.121(**)	.083(**)	.582(**)	1						
Q7	.173(**)	.438(**)	.334(**)	.221(**)	.583(**)	.616(**)	1					
Q8	.125(**)	.363(**)	.212(**)	.218(**)	.548(**)	.595(**)	.742(**)	1				
Q9	.175(**)	.459(**)	.223(**)	.128(**)	.545(**)	.492(**)	.660(**)	.597(**)	1			
Q10	.189(**)	.469(**)	.266(**)	.202(**)	.625(**)	.602(**)	.788(**)	.695(**)	.758(**)	1		
Q11	.114(**)	.366(**)	.172(**)	.154(**)	.475(**)	.533(**)	.595(**)	.600(**)	.514(**)	.591(**)	1	
Q12	.183(**)	.377(**)	.195(**)	.156(**)	.502(**)	.509(**)	.631(**)	.592(**)	.565(**)	.649(**)	.692(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（事前の準備や復習等を含む）
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 11 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 12 教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である